

関係会社との一体感を持った連結経営を目指す三井物産の関係会社の会である「三栄会」。その最新の活動状況を紹介するシリーズです。三栄会には「東京三栄会」のほかに北海道、東北、名古屋、関西、中四国、九州の六つの地方三栄会があります。第15回は「九州三栄会」の活動内容をご紹介します。

お問い合わせ先:事業管理部企画室 東京三栄会事務局 ex.7569 eメールアドレス:SaneikaiTKAOI@mitsui.com
東京三栄会ホームページ:http://www.san-eikai.or.jp

独自の催し物を通じて、 会員企業社員の親睦を図る「九州三栄会」

「三栄会」の中で最も西に位置する「九州三栄会」から活動状況を報告します。「九州三栄会」では総会や講演会など、ほかの三栄会でも実施している行事のほか、独自の催し物を行っており、今回はその中から、「バドミントン大会」「社会貢献活動」「料理教室」についてご紹介します。

世界トップクラスの選手が指導する「バドミントン大会」

「バドミントン大会」は、日本ユニシス(株)美園バドミントンチーム



「バドミントン大会」の模範試合「日本ユニシス(株)美園バドミントンチーム」の選手と参加者の皆さん



ム選手の皆さんを招き、模範試合や選手との対戦を楽しんでもらう企画です。毎回八十名前後の会員企業の皆さんが参加しています。同チームは、二〇〇六年、二〇〇七年と日本リーグを連覇し、オリンピックやアジア大会にも出場する世界トップクラスの選手を多く輩出しています。そうした選手たちの気迫に満ちた模範試合を観客席ではなく、コートサイドの目の前で観戦することができるのです。毎回、素晴らしいプレーにため息と大歓声の連続です。

また、会員企業の社員同士の試合も行われます。直前に世界トップクラスの選手の動きを見ているため、中には、自分にもできると錯覚してしまう人もおり、主催者としては、選手とは違つのですから無理をしてけがをしないように」と注意する場面が多々あります。

最後に行く、日本ユニシスの選手ペアと会員企業の社員チームとの対戦は盛り上がりです。選手ペアは、学生時代に経験のある人全くの初心者、それぞれに合わせ、精密なプレーで事故が起きないように対戦してくれま。本年も二月に第四回の大会を実施しました。

福岡市民の憩いの場で「社会貢献活動」

また、「社会貢献活動」については、昨年度、実施するに当たり、二つの「活動基本方針」を定めました。身近な社会に貢献しよう

世界に目を向けることも大事ですが、われわれはまず自分たちが暮らす地域への恩返しを行うこととしました。体で奉仕しよう義援金など金銭で支援する方法もありますが、体を動かす形で支援することとしました。

独自企画も考えましたが、社会貢献活動の初心者としては、まずは福岡市が主催する、福岡市民の憩いの場である「大濠公園の花壇整備と球根植え」と「市内公共施

設の落書き消し」に参加しました。当日は会員企業から六十名ほどが参加、猛暑の中、良い汗を流しました。活動後はヒアボールに集り、麦藁帽子片手に日焼けした顔をほころばせながら、お互いの労をねぎらい合いました。

年配男性の姿が目立つ「料理教室」

さらに、昨年度初めての試みとして実施したのが「料理教室」です。西部ガス(株)の協力を得て、「ピルル」がすすむ簡単おつまみ」とレストランKATOの創作フレンチの二回の教室を開催しました。参加者数は厨房機材の関係から各回二十四名限定でしたが、二回とも満員御礼状態で、意外と会員企業の年配男性社員の姿が目立ちました。なお、西部ガスの小川社長から料理教室後の試食用ビールを差し入れていただきました。

今後も、折に触れて「九州三栄会」の活動を紹介していきたいと思います。

(九州三栄会会長 日本ユニシス(株)九州支社長/岡部記)